

IT関連企業 P様コースデザイン

コース目標・方針	①コミュニケーション言語活動 産出（まとまった内容を話す）とやり取り（人とやり取りして話す）を軸に行う。 ②コミュニケーション言語能力 (1)言語構造的な能力・・・ビジネスや業務に直接関わる語彙を増やしていく。 (2)社会言語能力・・・相手との関係や場面に応じて適切に言語を使えるようにする。 (3)語用能力・・・談話を組み立てる力・流暢さ・正確さを養う。 *語彙、会話を中心に授業を組み立て、日本語を使ったコミュニケーションの質を上げることを目標とする。 *あくまで、仕事の場面での日本語に限定する。	
	【JF日本語教育スタンダード】【CEFR共通参照レベル】をもとにレベル設定をする。 A2→B2 *現在のレベルはA2ぐらいだと思われる。これをB2レベルに上げることを目標とする。 *学習項目は「発話能力」「語彙」、場面を「仕事」「プレゼン・ディスカッション」に絞る。	
授業内容・学習目標	学習目標 ①専門分野や一般的な話題に関する幅広い語彙を持つ。 ②頻繁な繰り返しを避け、言い換えができる。 ③発話時に言葉を探していることをそれほど感じさせない。 ④コロケーションで覚える習慣をつけ、運用力をつける。 ⑤1ヶ月に150~200の語彙の習得を目指す。	授業内容 ①予め指定しておいた語彙の例文提示と補足説明 ②学習語彙を使った簡単な会話や文の作成 ③学習語彙の発音チェック ④語彙に関する質問の受け付け ⑤進捗がわかるようにテキストの使用を検討中
	発話 ①活発な議論についていけるようにする。 ②自分の意見、考えを正確に表現できるようにする。 ③専門分野に関連した事項の議論を理解する。 ④議論の要点を理解し、自分の立場、見解を正確に述べる。	①「話題シラバス」を採用 ②学習語彙、業務に関する話題を設定し話をする。 ③会話を録音し、次回フィードバックをする。 (語彙の選択・正確さ・流暢さ・やり取りのうまさ…)
評価	評価時期	3ヶ月ごとに評価
	評価方法	・3ヶ月前の会話と同じテーマで再度話をし、比較する。 ・可能であれば、普段一緒に仕事をしている同僚の方からも変化を聞きたい。
	評価項目	「語彙の量」「間違いが改善されているか」「やり取りのスムーズさ」 「こちらの日本語をどの程度理解できるようになっているか」